

授業と評価の年間計画

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	
使用教科書(発行所)		Joy of Music (教育芸術社)		
履修条件 対象生徒	選択 普通科 3年			
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
学習方法	<p>【授業】 表現活動(歌唱、器楽、創作)、鑑賞の分野において、専門的な知識・技能を習得する。 音楽理論、ソルフェージュに取り組み、入試課題にも対応でき、音楽表現に柔軟性をもたせられるようにする。</p> <p>【家庭、補習・その他】 音楽大学等に進学するために必要な演奏技術を高めるよう、家庭においても練習に取り組む。</p>			
学習計画 と ねらい	<p>年間を通して</p> <p>《ソルフェージュ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律聴音 ・和声聴音 ・新曲視唱 <p>《楽典》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽理論 ・入試問題 <p>《実技発表会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月末に実施 ・演奏に関する意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・C dur、F dur、G dur、B dur、D durの単旋律聴音、2声聴音を通して、音程、リズム感を養い、記譜法についても学ぶ。 ・C dur、F dur、G dur、B dur、D durの3声、4声の和声聴音(密集、解離)を通して、和声感を養う。 ・音楽理論の解説と問題演習を通して、入試に対応できる楽典の力を身に付けるとともに、音楽史についても学ぶ。 ・入試やコンクール、演奏会に向けて取り組んでいる曲を演奏し、受講者同士で感想を伝え合う。音楽を多感覚で捉え、音楽表現を言語化する力を養い、更なる表現力を高めていく。 		
評価規準	関心・意欲・態度	表現の創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	音楽や音楽文化についての理解を一層深め、感性を磨き、個性豊かな歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に取り組もうとしている。	楽曲の表現内容を総合的に理解しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	個性豊かな音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、個性的、創造的に表現している。	音楽の構造上の特徴とその音楽の美しさや価値とのかかわりを総合的に理解して、創造的に味わっている。
評価方法	「関心・意欲・態度」「表現の創意工夫」「表現の技能」「鑑賞の能力」の観点別評価規準をもとに、実技テスト、筆記テスト、授業態度、提出物などを総合的に判断して評価する。			
その他				